

第39週の発生動向 (2005/9/26~2005/10/2)

1. 警報、注意報は、すべて解除されましたが、今後流行期に入る感染性胃腸炎の動向に注意が必要です。

第39週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															0
(60) 咽頭結膜熱	1	0.13											1	0.02	-5
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			7	0.70					2	0.33	3	0.75	12	0.29	3
(62) 感染性胃腸炎	13	1.63	13	1.30	3	0.33	1	0.20			11	2.75	41	0.98	4
(63) 水痘	2	0.25	1	0.10	4	0.44	7	1.40			2	0.50	16	0.38	-1
(64) 手足口病	5	0.63	3	0.30	4	0.44							12	0.29	-2
(65) 伝染性紅斑	4	0.50	3	0.30	1	0.11			4	0.67			12	0.29	-2
(66) 突発性発しん	1	0.13	4	0.40	5	0.56			6	1.00	4	1.00	20	0.48	6
(67) 百日咳															-1
(68) 風しん					1	0.11					2	0.50	3	0.07	3
(69) ヘルパンギーナ	7	0.88	6	0.60			1	0.20					14	0.33	-11
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	4	0.50	5	0.50	4	0.44	7	1.40	3	0.50	3	0.75	26	0.62	7
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎					4	2.00	4	4.00	3	1.50			11	1.00	6

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

は警報
 は注意報
 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

(82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内:3人 (17年計 111人)

感染症の啓

ウエストナイル熱



ウエストナイル熱の病原体であるウエストナイルウイルスは、カラス等のトリと蚊の間で感染サイクルを築いています。

ヒトには、ウイルスを保有した蚊に刺されることで感染します。ヒトからヒトへは感染しません。

潜伏期間は2~6日で、感染者の約80%は不顕性感染に終わり、感染者の約1%が重篤な症状(激しい頭痛、高熱、頸部硬直、弛緩性麻痺、髄膜炎、脳症)を示すとされています。

現在、ウエストナイル熱は、アフリカ、ヨーロッパ、西アジア、北米に分布しています(図1)。日本国内で感染した例はありません。

ワクチンがないので、蚊に刺されないようにすることが唯一の予防方法です。流行地域に出かけた際は、長袖長ズボンを着用し、虫除け剤の使用等で蚊に刺されないよう注意しましょう。

なお、県では、ウエストナイル熱の侵入対策として、死亡カラスについての情報を集めています。カラスの死体を発見した際には、最寄りの保健所まで情報を提供くださるようご協力ください。